

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 4月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |   |            |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 23   | 利用者とのコミュニケーションの記録・利用者との会話の記録をもっとしっかりと残す。過去の経歴が把握出来ていない情報共有出来ていない。                               | 利用者の経歴を家族からも情報を得て、職員間で十分に共有して把握し、本音の思いに伝える。   | 会話の内容を一言一句確認し、会話の記録から思いをくみ取り、家族からも情報収集して職員間でその人らしさを考える。家族から利用者の方の経歴や好みをアセスメントを行う。                 | 6ヶ月        |
| 2        | 26   | 機能訓練などの取り組みはしているが、評価をもとに原因や要因を分析しアセスメントが不足している。ケアプランに具体性がなく、スタッフ同士での共有が不足している。                  | 毎日の状態把握にもつながるので、評価を詳しくして介護記録に文章として残す。記録や家族の要望、本人の思いなどを計画に盛り込みユニット会議や日々の仕事の中で情報を共有する。      | 利用者の言動や行動を詳細にメモを取り、記録に記入する時にいつもの変化はないか職員同士で確認しながら記入する。ユニット会議内でアセスメント、モニタリングを行い皆で情報を共有、取り組みの統一を図る。 | 12ヶ月       |
| 3        | 11   | 全体会議やユニット会議が報告の場になるだけ事もあり、たくさん日程を設けても参加するのに無理が生じている為、日程調整や会議の流れの見直しが必要。                         | 会議の場が報告ではなくケアプランに対しての評価やモニタリングの場となり、会議後のサービスの向上につながるものを目指す。その事をしっかりと記録に残し、しっかり評価できるようにする。 | アセスメントシートの統一化やケアプランの見直しをする。会議の議題の集約や会議の活性化を管理者とユニットリーダーで話し合う。                                     | 12ヶ月       |
| 4        | 52   | ユニットフロアはどんどん利用者の作成物の発表や家族への情報発信の展示をおこなっていく。共有スペースの和室とウッドデッキには利用者の興味を引くものや楽しめるスペースを作り上げる必要があります。 | 外部の方、利用者家族、他事業所の利用者やスタッフが休みに来たくするような空間を作っていく。   | ウッドデッキの整備、和室の活用の仕方を会議等で話し合う。  | 12ヶ月       |
| 5        |      |   |   |   | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。